

No. 7-03

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 07 - 3

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 2		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		医療給付経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	保険年金課		係名	
		2-3 安心して子育てのできるまちをつくる					シート作成者			
	施策	2-3-1 子育て支援の充実				予算費目	会計		一般	
							款		3	
主要施策	④ 相談・援助体制の充実				項		1			
					目		4			
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	福祉医療費の助成対象者（子ども、障がい者、一人親家庭等）			対象者の保健の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		医療給付事務… 福祉医療費助成は、子育て支援や経済的負担の軽減を図るため、子ども、障がい者及び一人親家庭等の医療費の助成を実施しています。 なお、本助成制度は、三重県福祉医療費助成制度の補助対象となっています。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～ 平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町福祉医療費の助成に関する条例 東員町福祉医療費の助成に関する条例施行規則								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		193,262		203,149				
財源内訳	国庫支出金		0		0					
	県支出金		72,764		74,310					
	地方債		0		0					
	その他特定財源		0		0					
	一般財源		120,498		123,955					
直接事業費（千円）A		0		193,262		198,265				
人件費（千円）B		0		0		4,884				
内訳	一般職員（人・千円）		人 0		人 0		0.74 人		4,884	
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人		0	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	(目標)	(目標)		
	①									
	②									
③										
説明		申請された助成対象については、全て助成を行っているため、本助成制度の成果指標は設定できないものと考えます。								

事業名		医療給付経費		シート作成課		保険年金課		
一次評価者		保険年金課長		二次評価者		生活部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本助成制度は、三重県福祉医療費助成制度を活用し、子育て支援や経済的負担の軽減を図るため、福祉医療費助成を実施しています。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育て支援と経済的負担の軽減ができていると考えます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三重県福祉医療費助成制度にあわせた助成制度を適切に実施しています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本助成制度の運営については、他の実施主体を活用することは不可能であり、町で実施すべき事業であると考えます。	
本事務事業の実施適切性の説明								
本助成制度は、医療費助成することにより、子育て支援や経済的負担の軽減を図るものです。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
今後の改革・改善目標	本助成制度を推進するため、制度周知に努めます。また、子どもの医療費助成については、窓口での支払い負担のない「現物給付方式」による助成方法の検討を行っていきます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
コメント	子育て支援や経済的負担の軽減を図る施策として有効であるため、今後も円滑かつ確実に助成を実施していく必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在的手段を継続する				